

指標 9.2.2

指標名、ターゲット及びゴール

指標 9.2.2 全産業就業者数に占める製造業就業者数の割合

ターゲット 9.2 包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに各国の状況に応じて雇用及びGDPに占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる。

ゴール 9 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。

定義及び根拠

○ 定義

全産業就業者に占める製造業就業者の割合。

○ 概念

就業者：「従業者」と「休業者」を合わせたもの

従業者：調査週間中に賃金、給料、諸手当、内職収入などの収入を伴う仕事（以下「仕事」という。）を1時間以上した者。

休業者：仕事を持ちながら、調査週間中に少しも仕事をしなかった者。

製造業：日本標準産業分類（平成25年10月改定）の大分類Eに属する産業。

○ 根拠及び解釈

この指標は、就業全体における製造業の貢献度を示している。

データソース及び収集方法

労働力調査（基本集計）

算出方法及びその他の方法論的考察

○ 算出方法

$$\text{全産業就業者に占める製造業就業者の割合} = \frac{\text{製造業就業者}}{\text{全産業就業者}} \times 100$$

実数は労働力調査（基本集計）II-2-1表、II-5表、地域別第1表から取得可能。

○ コメントと限界

産業分類は日本標準産業分類（平成 25 年 10 月改定）に基づいている。
日本標準産業分類における製造業（大分類 E）は、国際標準産業分類第 4 版における製造業（大分類 C）とおおむね一致している。

データの詳細集計

男女別、年齢階級（5 歳階級別）、職業別、地域別に取得可能。

参考

<https://www.stat.go.jp/data/roudou/index.html>

データ提供府省

総務省

関連政策府省

担当国際機関

国連工業開発機関（UNIDO）